



# 香川大学工学部ニュース

No. 35, 2010.4.30

## 卒業式と入学式

平成 22 年 3 月 24 日、工学部卒業式および大学院工学研究科博士前期後期課程の修了式が行われました。今年は 9 期生 247 名と博士前期課程 6 期生 78 名、博士後期課程 5 期生 10 名が卒業、修了しました。また、下表のとおり学生表彰が行われました。4 月 4 日には平成 22 年度入学式が行われ、学部 268 名、大学院博士前期課程 135 名、後期課程 7 名が新たに入学し、学部 3 年次に 16 名の編入生を迎えました。

(広報室)



卒業式



入学式

平成 21 年度香川大学工学部学生表彰受賞者一覧 (カッコ内は学科名・専攻名の頭文字)

学長賞	小奈裕典 (安)、巽隆有 (安)
工学部長賞	小奈裕典 (安)、松下和荘 (信)、鈴木博之 (知)、香西貴典 (材)
後援会長賞	住田達哉 (安)、高橋哲也 (信)、佐々木修 (知)、香西浩嘉 (材)

## 産学官連携 PBL の発表会の開催

平成 21 年 2 月 18 日に、2009 年度の産学官連携 PBL の発表会が行われました。PBL (Project-Based Learning) とは実際のプロジェクトの問題解決を図る実践型授業です。香川経済同友会の会員や協力企業からの参加者、教員・学生などのべ約 60 名の参加者がありました。今年度も実際の製品開発に関わる実験や切削機的设计など実社会において企業側にとってもプラスになる結果を残したグループが多くありました。更にまだ結果が不十分だとして実践を続けるグループ



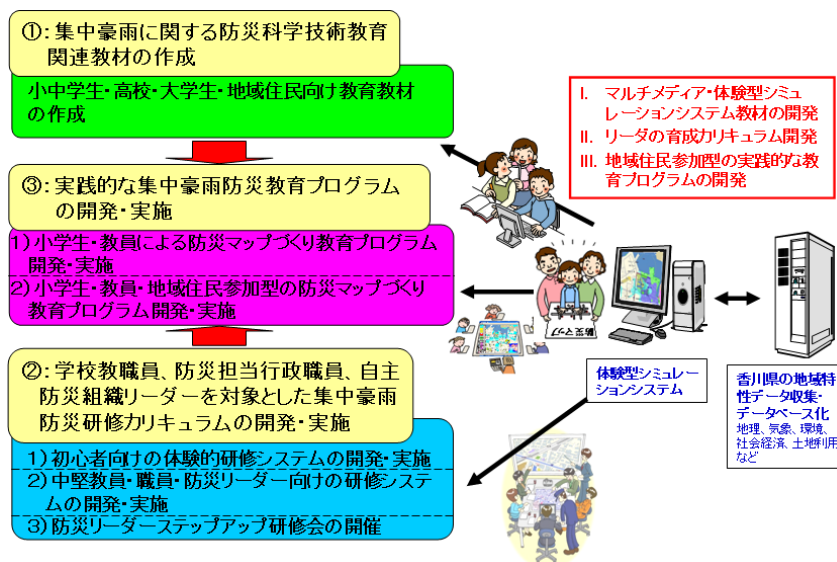
発表会の様子

もあり、自分たちの責任でプロジェクトをやり遂げる姿勢を示してくれるなど、日本のエンジニアリングはまだ強くなるぞという気がいたしました。(信頼性情報システム工学科 荒川雅生教授)

## 文部科学省「防災教育支援事業」

香川大学危機管理研究センターでは、平成 20 年度、21 年度の 2 年間にわたって、文部科学省防災教育推進プログラムに採択され、突発的に発生する集中豪雨による被害軽減を目指した「防災教育支援事業」を実施しました。事業実施メンバーとして、工学部から信頼性情報システム工学科の私、白木（危機管理研究センター長）、井面教授、安全システム建設工学科の松島教授、長谷川教授、石塚准教授、野々村准教授が参加し、香川県、高松市、坂出市、丸亀市（教育委員会を含む）等の行政機関及び地域の自主防災組織と連携し、体験型シミュレーションシステムの開発、そのシステムを活用した実践的な防災教育教材の開発を行いました。

さらに、その教材を活用して、小中学生、学校教職員、地域住民と一緒に研修可能なプログラムを開発し、地域の小学校や自主防災組織と連携して防災マップづくり、避難訓練を実施しました。事業が終了しても防災教育委員会は継続され、今後も教材や教育プログラム充実を図り、地域防災力の向上に貢献して行く予定です。（信頼性情報システム工学科 白木渡教授）



## 先端工学研究発表会の開催

香川大学工学部第 5 回先端工学研究発表会が平成 22 年 2 月 1 日に開催されました。前回に引き続き、徳島大学工学部からパネル展示の参加があり、本学関係教職員、学生、企業、一般市民約 200 名の来場がありました。日頃知る機会が少ない工学部教員の研究について、講演発表会及びパネル展示による質疑応答を行い、予定時間をオーバーするなど高い関心が寄せられていました。また、(株) いろどり代表取締役社長 横石知二氏を招き「人は誰でも主役になれる～そうだ、葉っぱを売ろう～」と題する特別講演会を開催し、参加した者はメモを取るなど会場は熱気に溢れていました。（広報室）

## 科学と芸術の集い「ロボットアーティスト大集合！」の開催

独立行政法人科学技術振興機構より本学が委託をうけ「ロボットアーティスト大集合！」を平成 22 年 2 月 21 日にサンポートホール高松にて開催しました。会場には、小学生とその保護者を中心に 1,100 名を超える来場者がありました。会場外に設けた「ロボット触れあいコーナー」では熱心にロボットに触れる子供たちの姿がありました。ここから、科学技術に興味を持った子供が生まれ、将来の技術者、研究者が育ってくれることを期待しています。（知能機械工学科 石原秀則准教授）



ロボット触れあいコーナー

## 平成 22 年 4 月着任 新任教員紹介

### 知能機械システム工学科 教授 下川 房男

日本電信電話株式会社(NTT)マイクロシステムインテグレーション研究所の研究員・グループリーダーを経て、4月から香川大学工学部に着任しました。香川大学では、専門分野であるマイクロファブ리케이션技術やマイクロデバイス技術を基に、光・バイオ分野への応用展開を図り、国内外に認められる研究拠点形成を目指して研究・教育活動を推進して行きたいと思っています。若い学生さんに、新しいことを創造することの楽しさ、それをやり遂げた時の達成感を与えられるよう努力して行きたいと思っています。



### 材料創造工学科 教授 舟橋 正浩

東京大学大学院理学系研究科化学専攻を中途退学後、東京工業大学情報工学研究施設助手、産業技術総合研究所ナノテクノロジー研究部門研究員、東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻准教授を経て、本学科に着任いたしました。研究内容は、有機エレクトロニクスで、液晶や高分子を取り扱っております。長期的には、生き物の皮膚のようなセンシング機能を持つ柔らかい電子材料の創製を目標にしています。既存の枠組みを打ち破るような新しい研究テーマに取り組みたいと思っています。



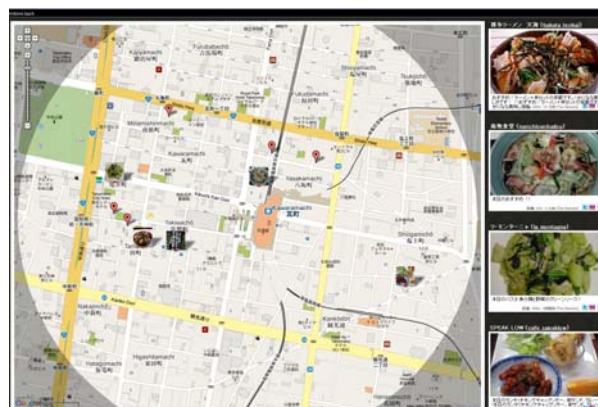
### 材料創造工学科 准教授 楠瀬 尚史

大阪大学工学部応用物質化学専攻博士後期課程を卒業後、大阪大学産業科学研究所で 11 年の助教の勤務を経て、4月より香川大学に着任いたしました。今までは、新規な構造用セラミックス複合材料の開発を行ってきました。今後は、合成したセラミックスフィラーを添加して高熱伝導性などの機能性を持った構造用樹脂の開発にも挑戦したいと考えています。私の出身は高知県で、実家の近い香川大学で勤務できることを大変嬉しく思います。本学部での教育・研究に貢献できるよう頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



## 市街地活性化プロジェクト

香川大学では高松市中心街活性化に取り組んでいます。工学部では安全システム建設工学科の土井研究室、信頼性情報システム工学科の垂水研究室がこの活動にかかわっています。3月には、話題のサービス twitter を活用した twikiwa システムが稼働し、トキワ街の拠点「ミッド・プラザ」周辺のランチ情報を手始めに配信しています。<http://twikiwa.jp/> をご覧ください。twitter をご利用の方はぜひ @midplaza をフォローしてください。今後は他学部との連携も図って行きたいと考えています。(信頼性情報システム工学科 垂水浩幸教授)



twikiwa システムの画面

## ハンバット大学からのインターンシップ学生派遣団の来訪

ハンバット大学の産業経営工学科の学生 10 名と随行のミン・ビョンチャン教授が、工学部においてインターンシップを行うため来日しました。初日の 16 日には交流会が開催され、学生同士さっそく打ち解けて交流を深め和やかな会となりました。滞在期間は、平成 22 年 2 月 15 日から 2 月 25 日までで、学生の皆さんは 2 名ずつ 5 つの研究室に分かれて研修し、滞在中 3 つの企業訪問も行いました。(広報室)



工学部内ラウンジにて

## 工学部ニュース紙面版終了のご挨拶

本号を持ちまして工学部ニュースの紙面版を終了し、電子版のみの発行となります。長きに渡りご愛読いただき、ありがとうございました。今後は、下記 URL より電子版をご覧ください。 (広報室) [http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u\\_eng/index.html](http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/index.html)

## トピックス

### 学術賞受賞等

9 月 26 日 福山恵士 (M2) (指導教員 澤田秀之)、Best Presentation Award (IEEE Shikoku Section) / 12 月 18 日 和田隆広、土居俊一、Best Paper Award (ICIRA) / 12 月 15 日 岩谷亮佑 (M1)、福家広幸 (M1)、伊藤南 (M1)、小林一智 (M1) (チーム責任者 荒川雅生)、奨励賞 (社会人基礎力育成グランプリ 2010 西日本予選大会) / 12 月 18 日 竹村明洋 (D2) (指導教員 国重和俊、田中康弘)、優秀学生賞 (日本鉄鋼協会中国四国支部) / 11 月 24 日 平岡祥史 (B4) (指導教員 和田隆広)、優秀講演賞 (計測自動制御学会四国支部学術講演会) / 12 月 18 日 平岡祥史 (B4) (指導教員 和田隆広)、Best Paper Award (ICIRA) / 12 月 4 日 藤大知子 (M1) (指導教員 山口順一)、優秀発表賞 (電気学会四国支部) / 2 月 19 日 土居俊一、和田隆広、優秀論文賞 (日本人間工学会中国・四国支部) / 2 月 19 日 今泉克成 (B4)、藤澤智 (M1) (指導教員 和田隆広)、優秀論文賞 (日本人間工学会中国・四国支部) / 2 月 6 日 Rosdiyana Samad (D1) (指導教員 澤田秀之)、Young Author Award Artificial Life and Robotics (AROB) / 3 月 5 日 内田怜志 (B4) (指導教員 掛川寿夫)、奨励賞 (金属学会) / 3 月 24 日 巽隆有 (M2) (指導教員 吉田秀典)、優秀修了生 (土木学会四国支部) / 3 月 24 日 岡村隆一郎 (B4)、(指導教員 吉田秀典)、優秀卒業生 (土木学会四国支部) / 3 月 24 日 西岡尚子 (M2) (指導教員 野田茂)、優秀修了生 (日本建築学会四国支部) / 3 月 24 日 細谷卓也 (B4) (指導教員 伊丹絵美子)、優秀卒業生 (日本建築学会四国支部) / 3 月 24 日 山田敬太郎 (M2) (指導教員 丹治裕一)、川崎慎一郎 (B4) (指導教員 富永浩之)、奨励賞 (情報処理学会・電気学会・電子情報通信学会四国支部) / 3 月 24 日 堤成可 (M2) (指導教員 和田隆広)、三浦賞 (日本機械学会) / 3 月 24 日 鈴木博之 (B4) (指導教員 鈴木孝明)、畠山賞 (日本機械学会)

### 教員人事

3 月 31 日 定年退職：岡野眞教授、森下一男准教授、三原豊教授、神垣良昭教授、國重和俊教授 退職：尹禮分准教授  
4 月 1 日 昇任：荒川雅生教授、澤田秀之教授、石井知彦教授、林純一郎講師 採用：三原豊特命教授

編集：工学部広報室 電話：087-864-2000 FAX: 087-864-2032  
e-mail: [info@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:info@eng.kagawa-u.ac.jp) <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>